

事故事例 9 (一般乗合) 降車直後に転倒した降車客に気付かず発進し轢過

曜日・時間・天候	10月21日(木)・17時40分・曇
場所	バス停留所
道路の状況	乾燥
運転者	年齢37歳 運転歴2年11月
乗務開始～事故発生の乗務距離	54.8km
損害	重傷
<p><b>事故概要</b>                  当該運転者は、6時54分に運行管理者の点呼を受け6時59分に出庫し、その後所定のダイヤにより運行、途中、休憩及び事務所内勤務を経て16時27分中間点呼を受け17時40分駅より30名の乗客を乗せ当該停留場において旅客を降車させるため停車、降車ステップでバランスを崩しバスに手を掛けた高齢者の乗客に気づかず中扉を閉めたことにより車外で転倒。運転者は車両左側と降車客の安全を確認せず発進したため後輪で右足のつま先を轢過し負傷させたもの。</p>	
種別・形状	普通・リアエンジン
乗車定員	77名
当時の乗車人員	31名

